目黒区緑化都市宣言
みどりのまちをつくるちかい

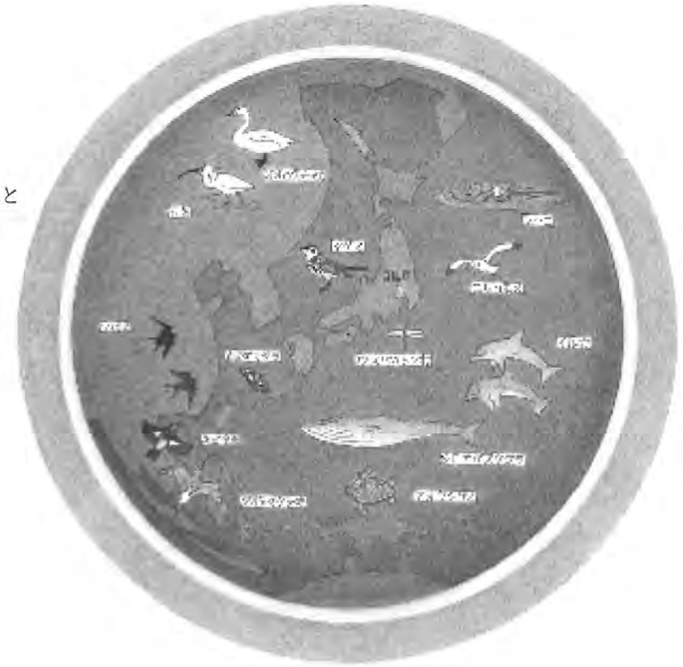
思い出してほしい
わたしたちがみどりの中に 生まれ
育ったことを
青い空 木々のこもれ日 季節のささやき
よびかけてる 誰もみな みどりの仲間だと

忘れないでほしい
木も草も 虫も鳥たちもともに暮らす
大切な家族
だから今 かけがえのない 母なる地球を
みんなで分けあっていこう

さあ 始めよう
ひと粒の小さな種をまくことから
大地に根をはり
すくすく枝をのばし
鳥たちがうたい
人びとがやすらぐ
一本の木の種

わたしたちの手で わたしたちの心に
こどもたちに伝える
森をつくろう

1990 年 10 月 28 日



自然情報・自然通信員　募集中

庭や公園、校庭などで観察した1つ1つの観察記録がみどりを守り、回復していく貴重な資料になります。年月日、種名(はっきりわからないときは○○類、○○のなかまとします)、場所（公園名、お庭などの町名番地)、 いた環境、個体数などの観察した内容、あれば写真などをみどりと公園課みどりの係まで郵便・FAX・メール（連絡先は21ページを参照）でお送りください。お送りいただいた方は自然通信員として登録し、年数回、調査結果などをまとめたニュースレターを郵送いたします（無料）。

United Nations Decade on Biodiversity

国連生物多様性の10年－自然と共生する社会を目指して
目黒区は生物多様性地域戦略を推進しています

目黒区生物多様性地域戦略
ささえあう生命の輪
野鳥のすめるまちづくり計画

●2018●　目黒区いきもの住民台帳　目黒区の蜘蛛

●めぐろいきもの気象台●　目黒区

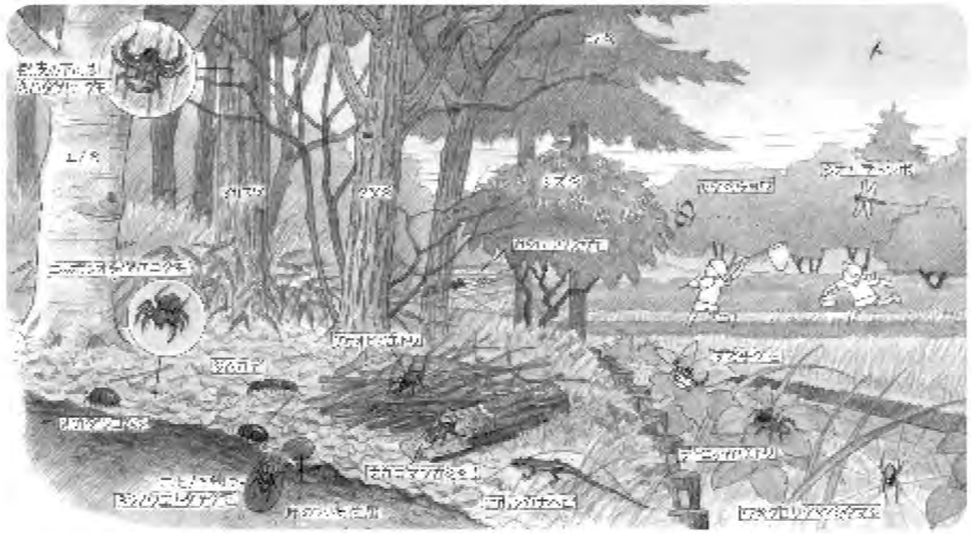
めぐろグリーンデータブック 2018

目黒区いきもの住民台帳

—身近に暮らすみどりのなかまたち—

目黒区の蜘蛛（くも）

List of spiders of Meguro City



地球のいのち、つないでいこう

ささえあう生命（いのち）の輪（わ）　目黒区生物多様性

目黒区

目黒区は、生物多様性地域戦略を定め、区民の皆様と協働による自然と共生するまちづくりを推進しています。その基礎資料とするため区内のいきものの変化を捉える身近な生物調査や専門機関によるみどりの実態調査※を継続しています。

「目黒区いきもの住民台帳」は、これらの調査の結果を区で記録された生物種名リストとして集計したものです。住民台帳の名は、身近な場所に暮らす『いきもの』たちを、私たちとともにすむ『目黒区の住民』として捉えたもので、2009年におよそ3000種類の動植物等を掲載した暫定版を公開しました。今回は、クモについて紹介するものです。クモの分類や生態等の記述については新海栄一氏（東京蜘蛛談話会）にご監修いただきました。

いきものは、自然の中でそれぞれ欠かすことのできない固有の働きをしながら、地域の自然を形づくっています。気候の変動や樹木の減少など身の周りの環境の変化が見られる現在、いきものの記録は私たちのまちの自然の現状を知り、生物多様性※の保全・回復をすすめる資料として大変重要なものとなっています。

目黒区生物多様性地域戦略※「ささえあう生命（いのち）の輪（わ）　野鳥のすめるまちづくり計画」では、野鳥を都市における生物多様性確保のシンボルとして捉え、エコロジカルネットワーク※の形成などを目指しています。この住民台帳が身近な環境に目を向ける機会となり、学習や地域活動の参考になれば幸いです。

作成にあたりご協力をいただきました新海栄一氏、麻生敬氏ほか、観察記録などの情報をいただきました多くの区民の方々、定点観測員※・自然通信員※、いきもの発見隊※・駒場野自然クラブ※等参加者、公園活動登録団体※、駒場野公園自然観察舎、中目黒公園花とみどりの学習館、区立小学校ほか皆様のご協力に感謝申し上げます。

目黒区都市整備部みどりと公園課

目黒区は、東京23区の西南部に位置し、渋谷区、品川区、大田区、世田谷区に隣接します。住宅系用途地域が8割以上を占める住宅地を中心としたまちで、面積は14.67㎢、人口は276,784人（2018年1月1日）です。総合庁舎のある上目黒2丁目は緯度35度38分、経度139度41分です。

緑被率（りょくひりつ）※は17.3％で東京23区中13位、開渠（かいきょ）（水面が見える）となっている河川は、目黒川の大橋より下流、呑川の緑が丘3丁目の下流です。

図　主な公園

図　目黒区の水系（2000:目黒区基本計画より）

＊　用語説明　（[区]は区の事業をあらわす）

あ

いきもの発見隊　（いきものはっけんたい）
イベント型住民参加調査。親子などの参加者が身近ないきものを探して記録し、自然の大切さや街に自然を呼び戻す工夫を考える　[区]

エコロジカルネットワーク　（えころじかるねっとわーく）
散在する緑地を緑道や街路樹でつなぎ、いきものがすみ、移動できる緑地を効果的に配置した緑地のネットワーク(目黒区生物多様性地域戦略より)

か

公園活動登録団体　（こうえんかつどうとうろくだんたい）
公園の清掃・花壇管理等の維持管理活動や、地域住民を対象としたイベント企画運営活動を行うボランティア活動団体。「住民参加による公園活性化のための要綱（ようこう）」(2001(平成13)年２月要綱(ようこう)制定)により区が登録し、区は一定の支援を行う　[区]

駒場野自然クラブ　（こまばのしぜんくらぶ）
駒場野公園の貴重な自然を地域の方の参加により守り伝える活動で、駒場野公園が開園した昭和61年から続いている。駒場野公園の雑木(ぞうき)林(ばやし)管理や自然観察などの活動を年間を通して行い、身近な自然とのふれあいやいきものとの出会い、草刈りや炭焼きなどの作業が子どもたちの貴重な原体験や学習の場となっている　[区]

さ

自然通信員　（しぜんつうしんいん）
身近な自然の観察記録を区に報告するボランティア。記録は生物季節や経年変化の把握などに活かされている　[区]

生物多様性　（せいぶつたようせい）
さまざまな「自然」が、そこに特有の「個性」をもついきものがいて、それぞれの命がつながりあっていること。食料や水の供給、気温等の安定、水質の浄化、私たち人間へのうるおいや安らぎの付与などの「生態系サービス」と呼ばれる「自然の恵み」は生物多様性のバランスの上に成立している

生物多様性地域戦略　（せいぶつたようせいちいきせんりゃく）
生物多様性基本法第13条に基づき、自治体が策定する生物多様性の保全に関する基本的な計画。目黒区では自然と共生する社会を目指し「目黒区生物多様性地域戦略　ささえあう生命(いのち)の輪(わ)野鳥のすめるまちづくり計画」を策定している

た

定点観測員　（ていてんかんそくいん）
自然通信員のうち、公園や庭など身近な場所を観測地として、開花日、野鳥などの初鳴き日、初見日など四季の変化を継続的に観察するボランティア　[区]

ま

みどりの実態調査　（みどりのじったいちょうさ）
目黒区みどりの条例に基づき、定期的に実施する区内の緑の実態に関する調査。昭和47(1972)年度、52(1977)年度、60(1985)年度、平成4(1992)年度、16(2004)年度、26(2014)年度に実施している　[区]

ら

緑被率　（りょくひりつ）
上空から見て、樹幹や草地などみどりで覆われた面積が占める割合

●参考資料等
「外来種写真集」（環境省2019年1月閲覧）
（https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html）
「各種殺虫剤のツマグロヨコバイおよびクモ類に対する選択性」（1971：川原幸夫・桐谷圭治・笹波隆文）
防虫化学 36(3)：121-128
「クモのいる自然環境を守るとはどういうことか」
（2005：八幡明彦）Acta Arachnologica 54(2)：147-153
「原色日本蜘蛛類大図鑑」（1960:八木沼健夫）
「クモの網」（2008：船曳和代・新海明）
「クモハンドブック」(2015：馬場友希・谷川明男)
「公益財団法人　日本中毒情報センター　保健士・薬剤師・看護師向け中毒情報【クモ(在来種)】Ver.1.00」
（1990：公益財団法人日本中毒情報センター）
「ゴケグモ属Latrodectusに関する情報」
（環境省 2019年1月閲覧）
https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/data/sentei/insect09/mat04.pdf
「シリーズ　くらしの最前線96　クモの糸の不思議」
（2015：大崎茂芳）日本家政学会誌 66(10):521-528
「日本の外来種対策」（環境省 2019年1月閲覧）
https://www.env.go.jp/nature/intro/index.html
「ネイチャーガイド 日本のクモ 増補改訂版」
（2017：新海栄一）
「農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアルⅡ資料」(2012：農林水産省農林水産技術会議事務局・独立行政法人 農業環境技術研究所・独立行政法人 農業生物資源研究所)
「レッドデータブック東京2013～東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版～」（2013：東京都環境局）

●目黒区の資料
「目黒区みどりの基本計画」(2016:目黒区)
「目黒区のみどり―みどりの実態調査報告書―」
（2015:目黒区）
「目黒区生物多様性地域戦略ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画」(2014:目黒区)
「めぐろのいきもの80選 」(2014:目黒区)
「みどりの散歩道コースガイド改訂版」（2017:目黒区）
「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の野鳥」(2015:目黒区)
「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の蝶と蛾」(2016:目黒区)
「目黒区いきもの住民台帳 土をめぐる生物」(2018:目黒区)
「目黒区いきもの住民台帳 暫定版リスト」(2009:目黒区)

●観察記録資料
「街の自然12か月＝目黒区の動植物ガイド」(1983:目黒区)
「目黒区産動植物目録＝街の自然12か月資料編」
（1984:目黒区）
「駒場野公園クモ観察リスト(同定:新海栄一氏)」
（1990～:麻生 敬氏 駒場野自然クラブ）
「公園の育児書(駒場野自然クラブ観察記録)」(1987:目黒区)
「目黒区自然環境基礎調査(土壌生物写真調査)」
（2000:目黒区資料）

●目黒区の生物多様性とみどりのまちづくりについて
(野鳥のすめるまちづくり計画･いきもの住民台帳･みどりの実態調査･みどりの基本計画など)
http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/tayosei.html

●自然通信員について(事業の紹介、ニュースレターのダウンロードなど)
http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/johokyoku/download.html

●作成協力　　新海　栄一（東京蜘蛛談話会会長）
麻生　敬（駒場野自然クラブリーダー）

●イラスト　　水谷 高英
（区民による身近な生物調査環境学習資料）

●写　　真　　麻生　敬
皆越ようせい
「外来種写真集」（環境省）
（https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html）
株式会社自然教育研究センター
自然通信員のみなさんほか

●カラー版　　ダウンロード
（ホームページでは観察記録の詳細も公開予定です）
http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/tokei/chosa_hokoku/ikimono_daicho.html

---

めぐろグリーンデータブック 2018　目黒区いきもの住民台帳 ー身近に暮らすみどりのなかまたちー

主要印刷物番号
30-36

目黒区の蜘蛛（くも）　　List of spiders of Meguro City

発行　初版 2019(平成31)年 3 月 31 日　　目黒区©
〒153-8573　目黒区上目黒 2-19-15
目黒区都市整備部みどりと公園課みどりの係《めぐろいきもの気象台》
電話:03-5722-9355(直通)　FAX：03-3792-2112　　E-mail:sizen@city.meguro.tokyo.jp
印刷　有限会社ジンキッズ
制作・編集　株式会社自然教育研究センター

（本冊子は区政情報コーナー・区立図書館で閲覧できます）